

授業科目 基礎看護学方法論Ⅴ (看護過程)	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後
				1年次/ 後期
講義のねらい	1 看護過程の定義と展開方法を理解する。 2 事例を用いて対象の健康問題を特定し、個別的な計画を立案するために看護過程を活用できる。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	1 看護過程とは 1) 看護の目的と看護過程 2) 看護過程の定義 3) 看護過程の5つの要素 4) 看護過程を用いることの利点 5) V・ヘンダーソンの看護の考え方  2 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 1) 問題解決思考 2) クリティカルシンキング 3) 倫理的配慮と価値判断 4) リフレクション  3 看護過程の展開 1) アセスメント 2) 看護問題の明確化(看護診断) 3) 計画立案 4) 実施 5) 評価  4 演習・個人ワーク発表、討議 事例展開			
教科書	系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② (医学書院)			
参考文献	1 NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 (医学書院) 1 NEW 実践! 看護診断を導く情報収集・アセスメント (学研メディカル秀潤社) 3 必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	終講試験 60点 各課題レポート 40点 合計 100点			
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例については、事前に配付するので事前学習をしておく。</li> <li>・教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する。</li> <li>・演習時の必要な準備については、演習前に示す。</li> <li>・教員とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する。</li> <li>・課題レポートについては、担当教員の指導を必ず受けてから提出する。</li> </ul>			